

北海道浮魚ニュース

平成 15(2003)年度 11 号 (通巻 No.153)

2002 年 7 月 23 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

日本海スルメイカ長期漁況予報発表される。

今年の日本海スルメイカ長期漁況予報が発表されましたので、北海道に関連する海域の予報文および参考となる図をお知らせします。

なお、この予報は日本海区水産研究所を中心にして日本海側道府県水試が共同で行った日本海スルメイカ漁場一斉調査の結果に基づいています。

平成 15 年度 日本海スルメイカ長期漁況予報

対象期間：平成 15 年 8 月～12 月

対象海域：日本海

1. 道北・道央海域 (小型いか釣り)

(1) 来遊量：近年平均より少ない

(2) 漁期・漁場：漁期を通じて低調

(3) 魚体の大きさ：小型個体が少ない

道北・道央海域では 7～8 月が漁期のピークであり、年によっては太平洋からオホーツク海経由で来遊する群によって 10～11 月にもう一つのピークが出来る場合がある。7～8 月は日本海を北上してきた群が漁獲されるが、今年の当海域および道南・津軽海域における分布密度は高くなく、初漁期の漁況も低調に推移している。また、南下期に漁獲対象となる道北海域および太平洋での分布状況も昨年を下回る状況となっている。したがって当海域の漁況は、漁期を通じて近年平均を下回り、後半にも大きなピークはないと予想される。魚体は前年に比べ小型個体が少ない見込み。

2. 道南・津軽海域 (小型いか釣り)

(1) 来遊量：近年平均より少ない

(2) 漁期・漁場：期間を通じて低調

(3) 魚体の大きさ：近年平均並み

道南・津軽海域では例年 7 月が漁期のピークであり、年によっては太平洋からの来遊群によって 10～11 月にもう一つの小さなピークが出来る場合がある。今年の当海域および本州北部日本海では分布密度が高い状況は見られず、これまでの漁況も近年平均を下回る状況で経過している。また、太平洋からの来遊群も大きく期待できないため、今後も近年平均を下回る漁況で経過すると予想される。

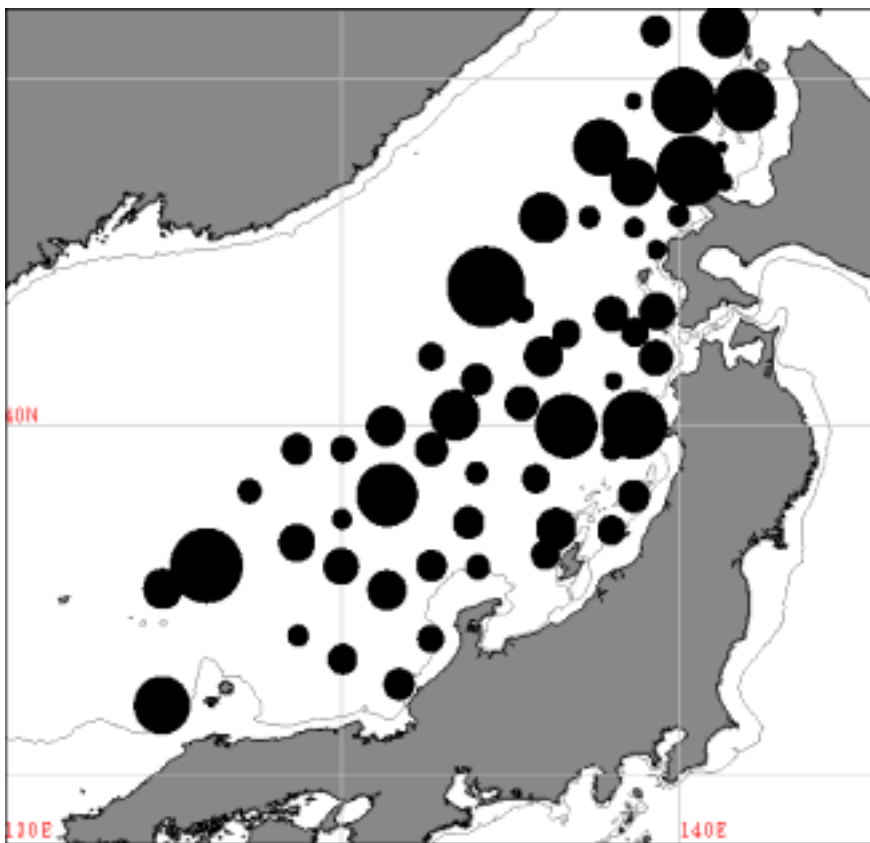


図1 2003年6月下旬～7月上旬のスルメイカの分布密度

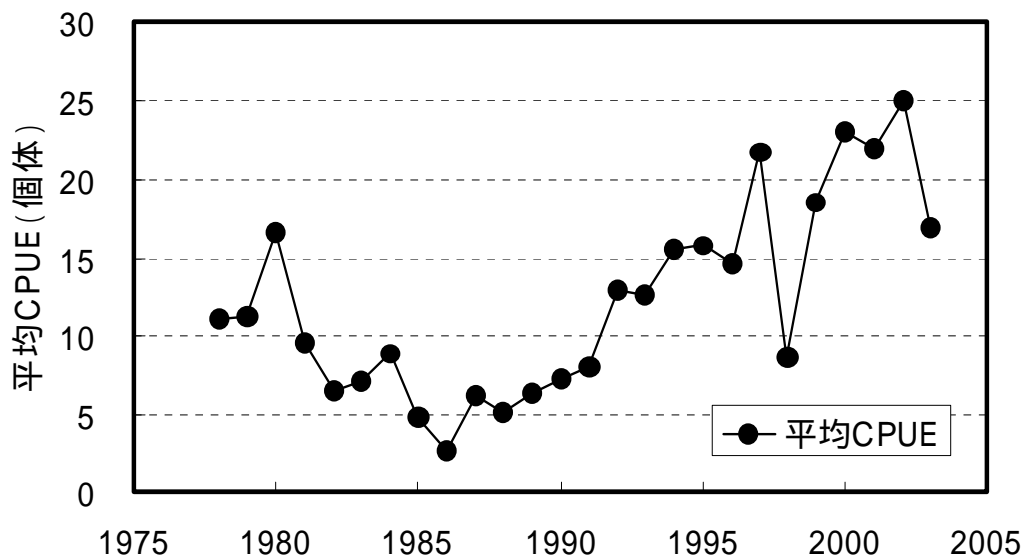


図2 日本海スルメイカ漁場一斉調査結果における日本海全体の平均CPUEの経年変化

(図は独立行政法人水産総合研究センター日本海区水産研究所取りまとめ資料より)
 (文責：中央水産試験場資源管理部、TEL:0135-23-8707、FAX:0135-23-8709)